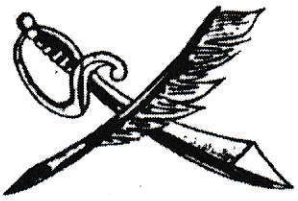
開成学園排球部 OB 会
会報



平成 13 年 8 月

目次：

1	総務関係活動報告および活動予定	1 頁
2	会計報告および予算、納入状況	2 頁
3	平成 12 年度役員人事	4 頁
4	開成クラブ戦績（報告：OB ﾁｰﾑ主将　沢村　正）	4 頁
5	開成高校戦績（報告：前高校コーチ　田沢　優）	5 頁
6	開成中学戦績（報告：中学コーチ　松尾佑樹）	6 頁
7	中国遠征報告（平成 13 年卒　星野晋平　丸崎 玲）	8 頁
8	会員近況	10 頁
9	会費納入のお願い	14 頁
10	開成会からのお知らせ	14 頁
11	訃報	15 頁

1. 総務関係活動報告および活動予定

平成 12 年　4 月　第 18 回 開成・麻布定期戦開催　麻布にて開催
総合優勝開成。6 連覇達成。通算成績 10 勝 8 敗。
5 月　年度幹事会開催
6 月　OB 総会、創部 55 周年記念祝賀会開催
8 月　会報・名簿発行

平成 13 年　4 月　第 19 回 開成・麻布定期戦開催　麻布にて開催
総合優勝開成。7 連覇達成。通算成績 11 勝 8 敗。
5 月　年度幹事会開催
6 月　開成高校関東大会出場（一回戦敗退）・OB 総会開催（23 日）
8 月　会報発行
9 月　中村先生を偲ぶ会を予定（9 日）
10 月　開成学園 130 周年記念祝賀会開催予定

平成 14 年　4 月　第 20 回 開成・麻布定期戦開催予定（開成にて）
5 月　年度幹事会開催予定
6 月　OB 総会開催予定
8 月　会報・名簿発行予定

2. 会計報告および予算

平成 12 年度　収支報告書
平成 12 年 4 月 1 日～平成 13 年 3 月 31 日

科目	金額		科目	金額
(支出の部)			(収入の部)	
春夏合宿援助費	¥120,000		前年度繰越金	¥3,423,234
現役強化費	¥453,583		年会費	¥908,000
通信費	¥116,320		利息収入	¥34,887
荒川区大会参加費	¥64,050		寄付	¥100,000
麻布定期戦費	¥20,000			
文房具費	¥33,546			
事務費 (ｱﾙﾊﾞｲﾄ代)	¥22,000			
慶弔費	¥20,000			
幹事会費	¥4,690			
送金手数料	¥5,560			
OB 会費次年度繰越金	¥3,606,372			
合計	¥4,466,121		合計	¥4,466,121

現役強化費内訳

ポールカバー及びボール代	150,000 円		
T シャツ代	50,000 円		
東京都代表中国遠征援助費	100,000 円	会計幹事	熊谷 達範(昭和 54 年卒)
(丸崎君、星野君)			関　茂和 (昭和 54 年卒)
コーチ補助費、その他	153,583 円	監査	冨部 直希 (昭和 43 年卒)

平成１３年度 予算案（平成１３年４月１日～平成１４年３月３１日）

科目	金額		科目	金額
(支出の部)			(収入の部)	
合宿援助費	120,000 円		年会費	620,000 円
現役強化費	300,000 円		受取利息	30,000 円
荒川区試合参加費	30,000 円		前期繰越金繰入	500,000 円
麻布定期戦費	30,000 円			
幹事会費	10,000 円			
慶弔費	20,000 円			
通信費	100,000 円			
事務費 (ｱﾙﾊﾞｲﾄ代)	20,000 円			
文房具費他雑費	20,000 円			
関東大会援助予備費	500,000 円			
合計	1,150,000 円		合計	1,150,000 円

関東大会出場援助のため(ユニフォーム代、宿泊費、交通費等を援助の予定)予備費
として 500,000 円を特別計上

OB 会費　卒業年次別納入状況　（平成 12 年度末現在）

卒業年次	会員数	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H19 以降
昭和 24 年卒	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和 25 年卒	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和 26 年卒	5	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	4	4	4	0	0	0	0
昭和 27 年卒	5	2	2	2	4	4	4	4	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和 28 年卒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和 29 年卒	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0
昭和 30 年卒	9	5	5	5	4	5	6	6	6	6	3	2	1	1	0	0	0	0
昭和 31 年卒	6	4	4	4	2	3	5	5	5	5	4	2	2	2	0	0	0	0
昭和 32 年卒	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和 33 年卒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和 34 年卒	5	2	2	2	0	2	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和 35 年卒	6	4	4	4	3	3	4	4	5	4	4	3	1	1	1	0	0	0
昭和 36 年卒	10	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	0	0	0	0
昭和 37 年卒	4	2	2	2	2	3	3	3	3	3	2	2	2	2	0	0	0	0
昭和 38 年卒	8	5	5	5	4	4	4	5	5	3	3	3	2	2	0	0	0	0
昭和 39 年卒	8	4	4	4	3	3	2	3	4	3	2	2	2	1	0	0	0	0
昭和 40 年卒	2	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和 41 年卒	4	1	1	1	1	0	0	1	2	2	2	2	1	0	0	0	0	0
昭和 42 年卒	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0
昭和 43 年卒	12	7	7	6	7	7	8	7	6	4	4	4	4	4	1	1	1	1
昭和 44 年卒	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0
昭和 45 年卒	8	7	7	6	5	7	7	5	6	6	5	4	3	2	0	0	0	0
昭和 46 年卒	12	5	5	5	5	5	7	6	6	4	2	1	1	1	0	0	0	0
昭和 47 年卒	11	5	4	3	1	2	3	4	3	2	2	2	1	1	0	0	0	0
昭和 48 年卒	4	4	4	2	3	2	3	2	3	3	2	1	1	1	0	0	0	0
昭和 49 年卒	19	17	16	16	10	12	14	15	16	9	8	6	4	2	0	0	0	0
昭和 50 年卒	7	4	4	4	4	4	4	4	3	3	2	2	2	2	0	0	0	0
昭和 51 年卒	3	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0
昭和 52 年卒	7	2	2	2	1	3	3	4	4	4	2	1	1	0	0	0	0	0
昭和 53 年卒	10	4	4	4	3	3	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和 54 年卒	8	6	6	6	6	5	9	8	7	3	3	2	2	2	0	0	0	0
昭和 55 年卒	12	5	5	5	1	1	3	4	5	6	5	5	4	2	0	0	0	0
昭和 56 年卒	6	3	3	2	4	4	5	6	5	6	4	3	3	3	0	0	0	0
昭和 57 年卒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和 58 年卒	9	4	4	4	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0
昭和 59 年卒	8	3	3	3	1	1	1	2	2	3	2	2	1	1	0	0	0	0
昭和 60 年卒	7	5	5	4	3	3	4	5	5	2	2	1	1	1	0	0	0	0
昭和 61 年卒	10	5	5	5	5	3	4	4	4	4	2	2	1	1	0	0	0	0
昭和 62 年卒	6	4	3	3	3	3	2	3	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0
昭和 63 年卒	10	10	4	4	4	4	5	4	4	4	3	3	1	1	0	0	0	0
平成 1 年卒	6	6	6	1	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 2 年卒	12	12	12	12	2	3	3	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 3 年卒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 4 年卒	8	8	8	8	8	8	1	2	3	3	3	2	2	0	0	0	0	0
平成 5 年卒	10		10	10	10	10	10	2	2	2	2	2	1	1	0	0	0	0
平成 6 年卒	14			14	14	14	14	14	4	3	1	1	1	1	0	0	0	0
平成 7 年卒	9				9	9	9	9	9	1	1	1	1	1	0	0	0	0
平成 8 年卒	11					11	11	11	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0
平成 9 年卒	13						13	13	13	13	13	0	0	0	0	0	0	0
平成 10 年卒	13							13	13	13	13	13	0	0	0	0	0	0
平成 11 年卒	9							0	9	9	9	9	9	0	0	0	0	0
平成 12 年卒	11							0	0	11	11	11	11	11	0	0	0	0
平成 13 年卒	11							0	0	0	11	11	11	11	11	0	0	0
合計	378	170	171	172	147	165	190	199	199	173	146	117	88	69	14	2	1	1

3. 平成12年度役員人事

役員

顧問	栗原　弘	先生	幹事長	鈴木　周	(H8 卒)
	奥山 茂樹	先生	副幹事長	横井 宏治	(63 卒)
	小牧　哲	先生	会計幹事	熊谷 達範	(54 卒)
名誉顧問	岩谷 昭史	先生		関　茂和	(54 卒)
	伊藤 清一	先生	監査幹事	冨部 直希	(43 卒)
相談役	吉村　功	(26 卒)	総務幹事	鈴木　周	(H8 卒)
	進藤 定夫	(30 卒)		宮　利政	(H9 卒)
	石束 晃一	(34 卒)	HP 管理幹事	田沢　優	(H9 卒)
	安井 高明	(37 卒)		川原 尊徳	(H12 卒)
会長	佐藤　勇	(40 卒)	OB ﾁｰﾑ主将	沢村　正	(H12 卒)
副会長	片野 昭秀	(44 卒)	高校コーチ	川原 希彦	(H10 卒)
	矢澤 俊彦	(48 卒)		田沢　優	(H9 卒)
	市村 幹司郎	(50 卒)	中学コーチ	松尾 佑樹	(H12 卒)
	関　茂和	(54 卒)		星野 晋平	(H13 卒)

年度幹事

24年～27年	吉村　功 (26卒)	45年	小川 宗男	61年	津野 泰明
29年～30年	進藤 定夫 (30卒)	46年	西村　隆	62年	奈村 太久馬
31年～32年	明渡 久和 (31卒)	47年	松田 信彦	63年	和知 敏樹
34年	石束 晃一	48年	矢澤 俊彦	H1年	小木曽和宏
35年	平松 久和	49年	高塚 義弘	H2年	和里田 聰
36年	三崎 哲郎	50年	松下 和正	H4年	神波 泰夫
37年	安井 高明	51年	上野 雅資	H5年	古野 徳一
38年	山本 純一	52年	老川 功明	H6年	今井 耕介
39年	鈴木 康之	53年	野口 恭司	H7年	加藤 和哉
40年	佐藤　勇	54年	関　茂和	H8年	鈴木　周
41年	西山 祐二	55年	高浪 孝勝	H9年	宮　利政
42年	片野 清昭	56年	中村 智博	H10年	川原 希彦
43年	結城 教仁	58年	藤森 光章	H11年	楓 淳一郎
44年	片野 昭秀	59年	清水 誠一	H12年	川原 尊徳
		60年	草野 昌行	H13年	星野 晋平

4. 開成クラブ戦績（報告：OB ﾁｰﾑ主将　沢村　正）

4月9日　第47回春季大会

男子一部

《予選リーグ第一試合》開成クラブ　○ (21-25　25-21　15-12) ●　アトムズクラブ

《予選リーグ第二試合》開成クラブ　○ (27-25　27-26) ●　大成クラブ

《決勝戦》　開成クラブ　● (21-25　19-25) ○　日興信用金庫　⇒　総合2位

7月2日　第16回オープン大会

《一回戦》開成クラブ　○ (25-20　25-16) ●　荒和会

《二回戦》開成クラブ　● (22-25　22-25) ○　ユーセブンタクローズ

9月3日　第48回秋季大会

男子一部

《予選リーグ第一試合》開成クラブ　●（17-25　23-25）○　荒川区役所
《予選リーグ第二試合》開成クラブ　●（15-25　26-24　6-15）○　荒和会　　⇒　総合５位
11月19日　第50回区民大会
《二回戦》開成クラブ　●（10-25　12-25）○　日興信用金庫

5. 開成高校戦績（報告：前高校コーチ　田沢　優）

新人戦　第２日目
《１試合目》　開成　○（25-14　25-22）●　国学院久我山
《２試合目》　開成　○（21-25　25-23　25-18）●　北園
《３試合目》　開成　●（23-25　18-25）○　小山台
最悪の出来でした。レギュラーの植田がいなかったこともあり、格下の相手に大苦戦！先生が異常なほど怒り、現役はますます萎縮する、という最悪な状況を生み出していました。３試合目はブロック予選で桜美林と駒大に勝ち、第１支部で１位になった小山台との試合でしたが、今までの不調が嘘だったかのような試合内容で、六角のブロックが冴えにさえ、大健闘しました。とにかく植田のケガが悔やまれる大会でした。これでベスト３２になりました。

春高予選　第１日目
《１試合目》　開成　○（25-21　26-24）●　都立町田
《２試合目》　開成　○（25-19　14-25　27-25）●　帝京八王子
春高予選は新人戦で４８以上に入ったチームで争われます。運命なのか、関東予選３日目で戦い、得失点率の差で争った、相手の１つ下の代と試合をすることになりました。しかし、両チームとも上の代のエースがいなくなっていて、総合力で開成が上回っていました。関東予選のかたきをとると、組み合わせが決まってから燃えていたのがこのような好結果を生み出したのだと思います。これでベスト１６入りを果たしました。
《３試合目》　開成　●（9-25　15-25）○　高輪
マネージャーが目玉を書き間違えた所ことで動揺してしまい、それを止めることが出来ませんでした。せっかく良い試合をして１６に入ったのに、もったいない結果になりました。

4月29日　関東大会予選第１日目
《１試合目》　開成　○（25-13　29-27）●　都立立川
《２試合目》　開成　○（25-22　25-12）●　都立駒場
《３試合目》　開成　○（25-20　25-12）●　都立井草
皆、異常なほどに緊張しており序盤から動きが硬く、３試合ともミスが目立つ試合でした。サーブミスが目立ち、不安を感じさせる試合内容でした。

5月3日　関東大会予選第２日目
《１回戦》　開成　○（25-18　25-14）●　都立小松川
４月２９日の隣のコートで良い試合をしていたため、油断のできない相手でした。小松川対策でブロックの強化の練習をしましたが、それが形となってあらわれた試合でした。スパイクも良く決まり、良い内容でした。
《２回戦》　開成　○（25-22　25-21）●　大東文化
大東文化はエースの２枚が強かったですが、練習試合で楽勝していた相手なので、危なげなく勝ちました。これでベスト１６になり、３日目への切符を手にいれました。
《３回戦》　開成　●（12-25　15-25）○　桜美林
桜美林は春高に出たチームですが、平均身長は開成と同じくらい。しかしレシーブは異常なくらいうま

く、開成は決定力がないこともあり、完敗しました。ただ、ブロックやリベロ大内のナイスレシーブがあり、内容には不満はありませんでした。次につながる一戦だったと言えます。

5月4日　関東大会予選第3日目

ベスト16に残った8チームを2つの組に分けるために朝9時に抽選が行われ、開成は都立羽村、関東一高、私立武蔵と同じブロックに入りました。もう一つの組は、東海大菅生、帝京八王寺、都立文京、東大和南だったので、楽な方のブロックに入ったと言えます。

《1試合目》　開成　●（21-25　20-25）○　都立羽村

序盤から動きが硬く、サーブカットは上がらず、重要なところでサーブをはずしてムードも最悪でした。羽村は、エースの2枚がうまく、ブロックも多少高かったけれど、負ける相手ではありませんでした。現役の試合後の落胆ぶりはものすごいものがありました。

《2試合目》　開成　○（25-23　25-19）●　関東一高

関東一高は平均身長も低く、センターのブロックも異常に低く、強豪校と呼ぶにはあまりにも迫力のないチームでした。センター六角が相手のエースのスパイクを何度もブロックし、レシーブも1試合目からは想像もできないほどうまくあがり完勝しました。

このあと、関東一高は羽村と武蔵に勝ち、2勝1敗になり、羽村も武蔵に勝ったので、2勝1敗と並びました。開成が武蔵にストレートで勝てば、同じ2勝1敗ですが、得失点率の差で関東大会に出場がほぼ決まる、という状況で3試合目が始まりました。

《3試合目》　開成　○（25-22　25-23）●　武蔵

武蔵はリベロ以外は全員高校2年生というチームで、かなり粗いチームだったので、開成も多少緊張して動きは硬くなりましたが、どうにか勝つことができました。1セットでも落としたら関東に行けないという状況だったので、18－20でリードされている時は非常に緊張しました。

関東一高	得点	141	失点	118	得失点率	1.195
開成	得点	141	失点	135	得失点率	1.044
羽村	得点	138	失点	134	得失点率	1.030

となり、本当にギリギリの差で関東大会に出場することとなりました。

6月2日　関東大会（in 茨城）

《一回戦》　開成　●（25-21　16-25　22-25）○　日立一高

とても大勢の応援の中、試合に臨むことが出来ましたため、1セット目は勢い良く奪うことが出来ましたが、プレッシャーのためか、2セット目以降ミスを4連発し、選手が浮き足立っているのがわかるくらいでした。来年こそは1回戦を突破したいものです。

6. 開成中学戦績（報告：中学コーチ　松尾佑樹）

8月22日　私学大会第一日目

《一回戦》　開成　○（24-26　25-20　25-16）●　日大豊山

《二回戦》　開成　○（25-10　25-17）●　芝

《三回戦》　開成　○（25-21　25-7）●　城北

一回戦の第一セット以外はミスも少なく、レフトのスパイクを中心に得点を重ねていき、また相手にも恵まれたようで楽に勝ち進むことができました。ベスト4に久々に残り、二日目へと進みました。

8月23日　私学大会第二日目

《準決勝》開成　●（17-25　25-23　15-25）○　世田谷学園

2セット目こそレフトスパイクで得点を稼ぎ、またクイックが効果的に決まってセットをとることができましたが、1・3セット目は相手のサーブに崩され、一気に失点が続くなどして、ほとんど何もできず

に終わってしまいました。この日を最後に中三が高校の練習へ移り、中二が最上級学年となりました。

8月24日　荒川区シード権大会

《第一試合》開成　○（25-8）●　諏訪台中　　《第二試合》開成　○（25-4）●　九中
《第三試合》開成　○（25-9）●　尾久八幡中　　《第四試合》開成　●（20-25）○　道潅中
《第五試合》開成　●（22-25）○　七中　　以上六チームによるリーグ戦
《第六試合》開成　●（19-25）○　七中
《第七試合》開成　●（15-25）○　道潅中　　以上上位三チームによるリーグ戦

下位三チームとはかなり実力差があって楽に勝てましたが、七中・道潅中には攻撃面では五分でしたが、レシーブ面などでかなり劣り、またチームとしてのまとまりがほとんどなかったため負けてしまい、結局三位でした。

10月14日　荒川区区民大会

中三《一回戦》　開成　○（25-14　25-11）●　九中A
　《二回戦》　開成　○（25-15　25-6）●　朝鮮中
　《準決勝》　開成　●（25-15　18-25　22-25）○　諏訪台中
中二《一回戦》　開成　○（21-25　25-16　25-11）●　四中
　《二回戦》　開成　○（25-14　25-14）●　九中
　《準決勝》　開成　●（21-25　25-23　27-29）○　道潅中

中三は諏訪台中の三年生に接戦の末敗れ、また中二は道潅中の二年生に8月に対戦したときよりは善戦しましたが、最後はミスが重なってしまい敗れ、両方とも準決勝で敗退してしまいました。

10月21日　新人戦区大会第一日目

《第一試合》　開成　○（23-25　25-13　25-13）●　四中
《第二試合》　開成　○（25-12　25-5）●　諏訪台中

四中との一セット目はサーブで崩され、またミスを連発してセットを落としてしまいましたが、それ以外は危なげなく勝つことができ、3チームのリーグ戦で首位に立ち、翌日の上位リーグへと進みました。

10月22日　新人戦区大会第二日目

《第一試合》開成●（12-25　16-25）○七中　　《第二試合》開成●（9-25　19-25）○道潅中

8月以来ずっと課題であるレシーブが七中と道潅中にはやはりだいぶ劣っており、攻撃力をいかせずに負けてしまいました。荒川区三位でブロック大会へと進みました。

10月28日　新人戦ブロック大会第一日目

《一回戦》　開成　●（23-25　21-25）○　銀座中
《敗者復活戦》開成　○（17-25　25-13　25-22）●　新田中

一応チームとしてまとまりながら試合をやろうとする姿勢が初めて見られましたが、サーブミスを連発するなど、まだまだ考え方が甘いように思われました。

10月29日　新人戦ブロック大会第二日目

《敗者リーグ第一回戦》開成　●（19-25　15-25）○　御徒町中

相手のエースに対処できず負けてしまいました。この結果新人戦は都大会に進めずに終わってしまいました。

1月8日　中一大会

《第一試合》開成○（25-21　25-12）●七中　《第二試合》開成▲（18-25　25-19）△尾久八幡中
《第三試合》開成●（24-26　14-25）○道潅中　《第四試合》開成○（25-18　25-20）●九中
2セットマッチでおこなわれ、セット数が同じときは得失点差で勝敗が決まるため、2勝2敗で5チーム中3位でした。

2月18日　六校リーグ
《予選リーグ第一試合》　開成　●（17-25　10-25）○　暁星中
《予選リーグ第二試合》　開成　○（25-6　25-5）●　学習院
《決勝リーグ準決勝》　開成　●（17-25　12-25）○　麻布
一応チームとしてまとまりながら試合をやろうとする姿勢が初めて見られましたが、サーブミスを連発するなど、まだまだ考え方が甘いように思われました。

4月21日　春季大会荒川区予選第一日目
《一回戦》　開成　○（25-17　27-25）●　尾久八幡中
《二回戦》　開成　●（24-26　12-25）○　七中
一試合目は格下の相手でありましたが、自分たちでミスを繰り返し、終わってみればスコア的には辛勝でした。二試合目、一セット目はチームのまとまりがようやく見られるようになりましたが、あと一歩というところでミスが出てきて負けてしまい、二セット目は集中力が切れなにもできずに終わってしまいました。この結果翌日の上位4チームのリーグ戦へと進みました。

4月22日　春季大会荒川区予選第二日目
《第一試合》　開成　●（25-27　20-25）○　諏訪台中
《第二試合》　開成　●（20-25　25-23　20-25）○　七中
《第三試合》　開成　○（25-17　25-14）●　四中
諏訪台中（今までの道潅中）・七中とは今までほとんど勝負にならなかったのが、接戦までもつれ、特に七中戦では今まで見られなかったねばりが見られた点は非常によかったのですが、サーブカットミスからの大量失点が何回もあり、その点ではまだ自分たちのかたちでバレーができていないという印象を受けました。ただ上位二校との差は確実に縮まっているようでした。荒川区からは5校ブロック大会へ進めるため、3位でブロック大会へと進みました。

4月28日　春季ブロック大会
《一回戦》開成●（13-25　12-25）○花保中　《敗者復活戦》開成●（22-25　12-25）○渕江中
相手が確かにそこそこ強敵ということもありましたが、自分たちでミスを連発して試合を勝手に壊したり、また試合中に相手への攻撃へ柔軟に対応するといったことができずに敗れさってしまいました。この結果春季大会も都大会へ進めませんでした。

7. 中国遠征報告

昨年夏、当時高校3年生であった星野君と丸崎君が東京都私立高校の代表として中国遠征に参加しました。その報告もかねて両名には手記を書いていただいたので以下に掲載したいと思います。是非ご一読ください。

平成13年卒　星野晋平

少し古い話になりますが、昨年(2000年)の夏、私は丸崎君(平成13年卒)とともに東京都私立高等学校選抜のメンバーに選ばれ、8月25日～29日に4泊5日の日程で中国遠征に参加致しましたので、その時のことをご報告したいと思います。

遠征は、5日間のうち初日と最終日は移動のみで、残りの3日間で1日各1試合、合計3試合が組まれました。特に印象に残っているのは、最初に戦った山東体育学校です。彼らはおそらく山東省の中から集められた体育のエリートたちなのでしょうが、とにかく皆大変背が高く、スタメンの平均身長は190cmを軽く超えており、また、これは3試合を通じて言えることですが、控えにも180cm以下の選手はほぼいませんでした。どうやら中国では、背が高いというのはバレーをするための最低条件だというような認識があるようです。話を体育学校のほうに戻しますと、そういうわけで東京選抜は最初から高さで圧倒的なハンデを背負っての戦いとなり、球際の強さやプレーの細かさではこちらが勝っていましたが、結局3−0で完敗でした。

しかし僕がもっと感銘を受けたのは、その日の夜の出来事でした。昼に戦った体育学校の選手数人が、東京チームの宿泊していたホテルを訪ねてきたのです。そもそもどうやってホテルとルームナンバーを調べたのかもわかりませんし、しかも我々が泊まっていたホテルはヨーロッパ系の観光客用5つ星ホテルで、はっきり言ってとても地元の人が利用するようなところではないにもかかわらず、です。突然の来訪にこちら側はかなり驚きましたが、お互いつたない英語や漢字の筆談などで30分ほど雑談をして、彼らは帰っていきました。会話に時間はかかりましたが、けっこう馬鹿な話もしたりして、とても楽しい時間でした。仮に僕が逆の立場だったとして、同じことができたでしょうか？確かに些細な出来事ではありましたが、自分と違う世界へもためらいなく接していくという姿勢は、大いに見習わなくてはならないところだと感じました。

また、味方チーム、すなわち東京選抜チームの雰囲気も、たいへん刺激になりました。このチームには、いわゆる強豪校と呼ばれる学校の選手も多く参加していました。彼ら「強豪校」にあって、ポッと出のチームにないものは何なのか？この遠征で見つけた僕なりの回答は、ありきたりなようですが、彼らの傲慢なまでの「自信」です。もちろん、技術的にも肉体的にも差はあります。しかし、はっきりとした形がない分、この自信というものが1番大きな差ではないかと感じました。彼らは敵を過大評価することなく(時々過小評価することはあるかもしれませんが)、現実に自分が倒すべき相手として認識でき、スタメンだろうが途中出場だろうがコートで自分を出す術を知っているのです。そして、選抜チームともなれば当然のことなのでしょうが、彼らは練習中から自分をアピールし、試合に使ってもらえなければ、「俺を出せ！」というオーラをみなぎらせているのです。それにつられるようにして、遠征の後半では、ほぼ全員がそういう雰囲気になっていきました。そのときのベンチの雰囲気、チームのムードというのは、正直開成ではとても味わうことのできない、想像以上に刺激的で楽しいものでした。

このように、この中国遠征では、バレーの技術的な面ではもちろんですが、精神的な部分、そしてバレーを離れても、ものごとの考え方などといった面で非常によい勉強になり、また、よい刺激にもなりました。このような機会を与えてくださった東京私立高等学校バレーボール連盟の皆様、そして開成バレー部の皆様に感謝したいと思います。ありがとうございました。

平成13年卒　丸崎　玲

昨年、８月２５日から２９日までの中国山東省遠征の詳細についてここに記す。

初日…成田空港から飛行機で３時間（時差があるので見かけ上は２時間）、中国の乾いた大地に到着した。初めての海外、選抜遠征、喜びと不安が交錯した。共に選ばれた星野が一緒だったのがせめてもの救いだった。青島の空港から済南まではバスで６時間もかかる。延々と続くトウモロコシ畑の真ん中を、おんぼろバスは走り続けた。この日は移動のみだったが、次の日に備えて早めに就寝した。

２日目…午前中試合（ＶＳ山東省体育学校）。強い。完敗だった。僕も試合に出たが、絶不調で全く歯が立たなかった。しかしこの試合を経て、相手チームの強さよりも驚いたのは、彼等の使っていたひどく使い古されたボールやネットであった。日本で練習に使ってきたものは…、今まで何とも思っていなかったが、自分達はなんと恵まれた環境でバレーボールをしてきた事か！改めて思い知らされた。午後は泰山観光だった。いかにも中国、といった感じの寺が山の上に建てられていた。この日の夜、試合をした体育学校の生徒がホテルまで遊びに来てくれた。英語での会話、筆談、何とかしてコミュニケーシ

ョンを取ろうとがんばった。それにしても自分が逆の立場だったとしたら、果たして彼等のような行動が取れただろうか？素晴らしい人達！まさに、スポーツは国境を越えて人の輪を作っていくのだな、と実感した。

３日目…午前中試合（ＶＳ山東省実験中学)。前日の体育学校より弱い。危なげなく勝利。しかし、僕は前日の不調のせいか、ピンチブロッカーとしてしか試合に出してもらえなかった。開成のチームではほぼ毎回試合に出してもらっていたので、この日の試合は精神的に苦痛だった。悔しかったが、何とかして試合に関わりたかったので大きな声を出して応援をした。午後は済南から青島へ移動。またトウモロコシ畑の道を６時間。ちょっとうんざり。

４日目…午前中試合（ＶＳ青島市立第１１中学)。この日はスタメンで出してもらえた。気合いを入れて臨んだが、調子は相変わらず絶不調。ほとんどいいところが無いまま２セット目途中で交代。チームは勝ったが、悔いの残る最終試合となってしまった。このような国際試合の場でも自分の力が発揮できる他のメンバーはすごいと思った。精神面での力の差を感じた。午後は観光とショッピング。この日、お土産を買ったのだが、お金をはらったのに商品をくれない店があって困った。たまたま近くに来た通訳の人に話をしてもらって、どうにか無事に商品はもらえたが、海外の怖さを垣間見た感じがした。

５日目…午前中はショッピング。まだ買っていなかったお土産を買って一安心。その後、空港へ。青島の空港から成田空港まで３時間（時差があるので見かけ上は４時間）のフライト。短い期間だったが練習に試合にと力を合わせてきた仲間ともお別れだ。とても寂しい気持ちに駆られたが、時間は待ってくれない。あっという間に成田へ到着。解散となった。

試合での個人的な調子は決してよくはなかったが、この遠征を通して何かかけがえのないものを手に入れたような気がする。僕がこの遠征のメンバーに選ばれたのは、中村先生をはじめ、栗原先生、奥山先生、バレー部ＯＢの諸先輩方、チームメイト、後輩たち、そして家族の支えや応援があったからだと思う。自分は目に見えるところ、目に見えないところで様々な人に支えられて生きているのだ、という事を強く感じた。みのり多い遠征だったと思う。

最後になりましたが、ＯＢの諸先輩方には暖かいご声援と励ましを賜りまして、ありがとうございました。この紙面をお借りして感謝申し上げると共に、これからもますます開成バレー部が発展することをお祈りして、ここにご報告申し上げます。

8. 会員近況（敬称は省略させていただきます。）

★ 開成･麻布定期戦返信【近況】より

《S26 卒：近藤和夫》卒業后 50 年になりました。週１回の出勤（建前）ですが、それでも重荷に感じる様になりました。持病の腰痛対策に歩くことに努力。少しずつ抵抗力がついているようです。

《S27 卒：岡部 雅臣》不動産賃付業にて晴耕雨読の生活を致しております。

《S30 卒：宗近 伸匡》体調不良ながら１日１日を楽しく過ごす様努力しています。もうバレーはできませんが、皆様の活躍を祈念しております。

《S31 卒：田村 鉄輿志》１月末より１ヶ月入院、現在通院中。只今は歩くことを専念中です。

《S39 卒：宮崎 直樹》皆様の意気込みが感じられて わくわくする思いですが、私こと三月に一週間ほど、思いがけず入院いたしまして、まだ弾丸サーブや回転レシーブを披露するのは無理なようですので、残念ながら今回は欠席させていただきます。皆様の活躍をお祈りいたします。

《S41 卒：西山 祐二》申し訳ありませんが、定期戦には欠席させていただきます。バレーボールを手にすることもなく、全く体力に自信がない、という情けない状況です。8 年ほど前に、現在の会社に転職し、オフィスは 4 年前に、赤坂にリロケートしました。

《S45 卒：桑田 起義》今も月半分はシンガポール事務所をベースとしております。

《S46 卒：田村 謙二》息子が大学２年、娘が高校２年です。歯科大学で生理学を教えています。

《S47 卒：後閑 哲夫》高校１年の息子がバレーをやっています。今月末にクラブ仲間と一緒に"春高バレー"の決勝戦を見に上京するそうです。

私「春高バレーは、お父さんが高校１年の時が第１回大会でね、東京大会決勝では、お父さんもフジテレビに映ったんだぞ」
子「すっげー。開成ってそんなに強いの？相手校はどこだった？」
私「八王子実践 vs 中村さ。女子決勝で、お父さんはラインズマンやってた。」
子「・・・・・・。」
《S48 卒：山本 雅司》最近、つまずくことが間々あります、老化現象の始まりのようです。結城・浜両先輩の返信メール拝見いたしました（お懐かしい）。45 年卒の方はさすが東京都ベスト４皆さんお元気ですね。皆様によろしくお伝え下さい。
《S49 卒：丹治 雅行》開成・麻布定期戦が麻布で開かれた場合、今もプールに放り込まれる人がいるのでしょうか。超ロートルの方々にはくれぐれも怪我をせぬよう、ご注意申し上げてください。
《S49 卒：荻野 文夫》厳しい経済環境の中、仕事の方は相変わらず四苦八苦で悪戦苦闘を続けております。息子は 4 月から大学生、娘は高校 2 年生になり、私生活の面ではだんだんとただのオジサンになりつつあるようです。バレーもここ 5 年ほどボールに触れたことなく(最後に触ったのは、ヨハネスブルグ日本人学校でのスポーツ大会でした)、運動不足の不健康な生活が続いています。
《S49 卒：清水 淳一》４年半駐在したマレーシアより、3/16 日本へ帰国することになりました。
《S49 卒：尾鷲 仁朗》2/21 付で、デジタルメディア開発本部(旧称、家電研究所)から、デジタルメディアグループ本部の事業企画部に異動になりました。場所は、JR 新橋駅から徒歩約 10 分です。ここ最近、数年単位で、ディビジョンラボ-->事業部-->日立本社-->ディビジョンラボ-->グループの本部と異動しており、皆様にも所在がわかりにくくなっているかと思います。名簿等の管理にも御手数をおかけし、申し訳ありません。
一つに、年齢的な物もあると思います。良くぞここまで日立に居続けたなと思う反面、残りの半分もなんとか日立にしがみ付いて(?) 日立を活性化しつつ?? 別の方法もあるかもしれませんが(???)、家族を養わなければなりません。
数年単位で異動するのも、同じ事をやり続けるのにはない刺激があってなかなか楽しい物です。
最近は DVD CAM と呼んでいる、8cm の DVD を用いた、ビデオカメラの開発を行いました。昨年の 8 月に製品化したのですが、使って見ると、これがとても面白い。単に、撮影するだけなら、DV ビデオカメラ(テープを使用したビデオカメラ)で十分かもしれませんが、旅行の帰りの電車の中で見たり、家で編集をしたり(簡単!!)、動画と静止画を同じディスクの中に記録しても簡単に見つけることもできるし、ディスクならではです。
一度使って見ると、しばらくの間は病みつきになること間違い無しです。チャンスがあったら、御店で触って見てください。ただ、ディスクが入っていなければ普通のカメラと同じで差がわかりませんよ。
《S50 卒：市村 幹司郎》昨年は 若手のおかげで 総合優勝は しましたが、自分の出た試合では永らく 麻布には 苦杯を喫しています。ボールに触れるチャンスは それ以来ないものの、今回こそ雪辱をと思いましたが 先約あり、ちょっと参加は 難しそうです。せめて 試合だけでも、と 調整を試みたいと思います。
《S50 卒：竹内 央尚》今年１０月に会社（三井海上）が住友海上と合併するため、諸準備で大変です。
《S50 卒：杉山 伸郎》極度の運動不足です。仕事は急がし、最近、東京でシャンソン(フランスの歌)のライブコンサートを年 2 回くらいやっています。(私はピアノ伴奏です)
《S53 卒：大木　聡》3 月にシンガポール駐在より帰国しました。また、よろしくお願いします。
《S54 卒：熊谷 達範》たまにバレー部のホームページを見させてもらっています。開成･麻布戦も 20 回とは、時が過ぎて行くのを感じています。OB 会の幹事の方々ご苦労様です。
《S54 卒：井手本 康》相変わらず大学で多忙な日を過ごしています。子供も１才少しになり、夜遅く家に帰 てっから相手をしているせいか、子供もすっかり夜型です。
《S55 卒：樫尾　博》運動不足で、バレーでもやったら、突き指、捻挫かなーー。
《S56 卒：天明 宏之》ご存知のように、オランダに居住しており今春の日本への帰国予定はありません。

したがって残念ながら欠席とさせて頂きます。時々オランダ人とバレーボールをする機会がありますが、彼らは非常に背が高いのでほとんどジャンプをしないでもネットの上から手が出るのでうらやましい限りです。開成チームの健闘を祈っています。

《S58 卒：山田　潔》 香港駐在も 5 年になり、子供も香港日本人小学校の 3 年生になります。帰国のときは、またよろしくお願い致します。

《S59 卒：石賀 和義》 昨年６月に格付機関に出向してから９カ月になりました。担当は、資産担保証券の格付けで、１月から３月までは多忙を極めています。また、４月から夜間大学院に通う予定です。

《S59 卒：増田 修久》 昨年 9 月よりハーバード大学で今話題のゲノムの研究をやっています。こちらでも週 1 回バレーをやっています。アメリカにもバレーをやる人が大勢いて驚いています。フォーメーションや掛け声の違いに戸惑っていますが、帰国後は超々OB 戦？で活躍できるよう鍛えておきます。

《S60 卒：高橋　究》 東京に戻って１年が経ち、ようやく落ち着いてきました。親子 3 人で元気にやっております。

《S61 卒：阿部 正典》 山口県岩国に住んで、８年も立ち、すっかり東京は帰省する所になっています。同期のみなとも会っていませんが、いかがでしょうか？

《S62 卒：山崎　彰》 本年１月に結婚いたしました。

《S62 卒：松山　晃》 約 3 年ぶりに京都に転勤することになりました。欠席続きで申し訳ありません。

《S63 卒：内田 大介》 昨年、警察庁を退職し、現在受験勉強中です。

《H2 卒：小林 哲緒》 省庁再編で勤務先の名称と電話番号が変わりました。一部、引っ越しや省名の入ったものを全部交換するなど、たいそうなお金がかかっていますが、効果はあるのでしょうか。運送屋や名刺屋など一部だけがもうけたような気がします。

《H6 卒：崎岡 智和》 平成 12 年 3 月に結婚し、今年の 8 月に baby 誕生予定。

《H8 卒：矢代 健太郎》 医学部 6 年生になり勉学に励んでいます。バレーボールも時々やっています。

《H9 卒：飯田 洋》 今年で僕も４年となり、勉強、部活と山場となりそうです。できるかぎり、悔いの無いような１年にしたいと思っています。開成のバレー部のイベントにも参加できうる限りしたいと思うので、これからもよろしくお願いいたします。

《H12 卒：堀内 直樹》 大学では管弦楽団（オーケストラ）をやっているのですが、3 月 21 日～3 月 29 日にベルリン演奏旅行に行ってきます。初の海外旅行なので楽しみです。

★ 開成排球部 OB 総会返信【近況】より

《S25 卒：大瀧 利尚》 週三日程、会社に顔を出し、その余暇に九十九里浜で釣糸を垂れております。バレーボールのお陰で年齢の割に足腰丈夫です。

《S26 卒：近藤 和夫》 5 月 20 日に同期会があり、岩谷先生にお会いし伊藤先生が体調を悪くしている由 お聞きし、排球部へ問い合わせしようと思いながら、日を過ごしてしまいました、我が家で合掌しご冥福をお祈りいたします。平均して週一回の勤務になり、家へ持ち帰りの仕事もあり、落ち着かない環境になっています。慢性腰痛を治すのが当面の目標で、夜就寝前に一時間の WALKING を日課とし、昼間短時間の労働を心がけ、少しずつ効果が出てきました。
諸先生・先輩を含め訃報ありましたら、教えて下さい。毎回種々ご連絡頂ながら大変失礼を続け申し訳ありません。今後ともよろしくおねがいします。

《S27 卒：岡部 雅臣》 定年後の自由をエンジョイしております。

《S30 卒：進藤 定夫》 2001 年 21 世紀初頭の今年、開成学園は創立 130 年、開成会は設立 70 周年。今年の開成会総会は第 70 回記念総会となります。その準備のため忙しい日を送っています。8 月に発行する会報でお知らせしますが、開成会総会にも皆さんでご出席ください。

《S30 卒：宗近 伸匡》 ガタガタの身体を調整しつつ、毎日なんとか身分勝手な生活をしています。皆様のご活躍を祈っております。28 年ぶりの出場・ガンバリを期待しています。

《S35 卒：山下 隆文》 先日は中村先生の通夜に参列させて頂きましたが、極めて残念…。先生が開成に

着任されて最初の担当学年が私共だったと思います。また、私の大学入学と同時に依頼を受けて先生の親戚関係の中学3年生の家庭教師をやったことも良い思い出となっております。私自身も狭心症を患っています。

《S35卒：中島 利栄》中村先生のお通夜に出席させていただきました。数年前に御会いしたのが最後となりましたが、心臓を患っておられるとは知りませんでした。久し振りで懐かしい先輩方と御会いしましたがこれも先生の御引き合わせでしょう。佐藤会長には当日も大変お世話になりましたが宜しくお伝えください。

《S38卒：玉田 恒久》関東大会出場おめでとうございます。文武両道を実践されている現役諸君の大活躍に敬意を表します。本大会の雰囲気に呑み込まれず日頃鍛えた実力に気力を加えて思う存分悔いのないよう戦って下さい。私の娘も青山学院女子ハンドボールで2年連続関東大会出場を果たしました。きっと諸君達にとっても貴重な楽しい思い出となることと思います。ご健闘をお祈りいたします。

《S39 卒：宮崎 直樹》中村先生が亡くなられてはじめて 先生の存在が空気の様に当たり前と思っていたことに気付きました。何十年も前の合宿での場面が不思議と鮮明に思いだされてきたりします。先生のご冥福を心からお祈り申しあげます。

《S44卒：片野 昭秀》中村先生の御葬儀にあたって、皆さんのご協力大変ありがとうございます。心温まる式であったと思います。若手ＯＢ諸君の献身的な御働きに感心させられました。「今の若い者は」とよく言われますが、開成バレー部のＯＢには、全く当てはまらないと感じさせられました
。皆さんとても頼もしかったです。私も、弔辞という大役を仰せつかり、ありがたいと同時に責任を痛感いたしました。無事役を果たせて肩の荷が下りました。久しぶりに総会に出席しようと思います。よろしくお願いいたします。

《S45卒：長嶺 義秀》仙台の広南病院に勤務しています。財団法人の脳専門病院です。脳ドックなどを担当しています。ご相談のある方はご連絡ください。

《S45卒：山本 惠一》昨年秋に工場から本社に移りました。初めての本社勤務です。当初は工場との違いの大きさに戸惑いましたが，ようやくなれて来た今日この頃です。最近腰が痛むようになってきました。歳ですかね。バレーはできそうにありませんが、総会には出席します。

《S46卒：柏女 霊峰》関東大会出場おめでとうございます。中村先生も応援してくれると思います。思う存分力を発揮して悔いのない試合にしてください。

《S49卒：堀口 健一》5月にロンドンより帰国いたしました。

《S50卒：市村 幹司郎》6月2･3日の関東大会の応援にも行けず 申し訳ありません。現役諸君のご健闘及び 中村先生の「弔い合戦」として是非 勝利を挙げられんことを お祈りしています。総会でのビデオを楽しみにしています。

《S50卒：杉山 伸郎》忙しいです。5月23･24と東京にいまして中村先生の訃報を聞きました。その足で先生宅へお参りさせていただきました。ご無沙汰していただけに　余計に淋しさ哀しさを感じました。

《S51卒：島川 誠一郎》最近、井上（旧姓：山崎）さんと一緒に仕事しています。

《S53卒：大木　聡》大変ご無沙汰して申し訳ありません。今年3月にシンガポールの駐在より帰国致しました。帰国早々に中村先生の悲報を聞き先日のお通夜には参席致しました。御葬儀に関わられたOBの皆様ご苦労様でした。

《S54卒：熊谷 達範》中村先生のご逝去本当に残念です。開成バレー部にとって、巨星が落ちたという感じです。

《S56卒：天明 宏之》連絡をありがとうございます。中村先生には私自身ずいぶん可愛がって頂きましたので、今回の報せには大変驚きました。ここ数年、ＯＢ会／定期戦等に行っておりませんでしたのでそれほど容体が悪いとも知らず、また2年前よりここオランダに来ておりなおのこと縁遠くなっていました。私の母が、（母も先生にはいろいろ良くしてもらいましたので）告別式に参列させて頂きましたが、涙が止まらなかったそうです。式には現役／ＯＢをはじめとして、とても多くの参列者がいらしていたと聞きました。現役の関東大会での活躍を期待しております。

《S60 卒：高橋　究》中村先生の訃報に接し大変驚いております。岩井の合宿所で、真っ黒に日焼けし、原付に跨って浜辺を走り回っておられた元気な先生のお姿が目に浮かび、万感胸をつくものがありました。小生にとって、開成バレー部は中村先生とともにあり、これからも自身の「想い」のなかでかけがえのないものとして生き続けるでしょう。　敬愛する先生のご冥福と、開成バレー部の発展を心よりお祈りいたします。

《S61 卒：阿部 正典》中村先生の訃報を聞き、本当に残念です。連絡を頂くたびに振り返っていますが、山口県岩国市に来て、７年にもなります。帰る予定は当分ありそうにありません。今回も仕事などで帰れませんので、欠席させていただきます。皆さんによろしくお伝えください。現役の皆さん、関東大会出場おめでとう。全力を尽くして頑張って下さい。

《H2 卒：上田 裕司》只今、ジャカルタに在住・勤務しており、今夏 7～8 月に帰国の予定です。今後ともよろしくお願い致します。（母代筆）

《H6 卒：徳永 貴志》現在、一橋大学大学院法学研究科修士課程でフランス憲法の研究をしています。御会葬には参上できませんでしたが、中村先生の御冥福を念じております。

《H6 卒：大田 英輝》中村先生のご冥福を謹んでお祈り申し上げます。現在は，宮城県石巻市で研修医をやっております．東京とは全然違った生活ですが，田舎の野戦病院での研修もなかなかいいものです。皆様のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

《H7 卒：若月　優》先日は中村先生の通夜と告別式ではいろいろな方々と久しぶりにお話でき懐かしかったです。ＯＢ総会のほうですが、いまだに大学で部活のほうを行っており、翌日に試合があるので残念ですが欠席させていただきます。この間もいろいろな人と話して、ずいぶん皆さんが頑張っておられるようなので、そして現役生もずいぶんと充実しているようなので、機会があったら練習に顔でも出してみたいと思っています。皆様にはよろしくお伝えください。

《H9 卒：中道真仁》千葉大医学部３年です。１年ほど前に引越ししたので、住所が変わりました。残念ですが、ＯＢ総会は私用のため行けません。またいつかみんなと会うのを楽しみにしています。

《H11 卒：木村 哲哉》中村先生の葬儀の際はなんだか忙しすぎて悲しむ間がなかったという感じでしたが、通夜の前日に自分の家で同期の山口君と大多賀君と追悼呑みをしました。告別式の出棺のときはさすがにちょっと。同期の石岡君が泣いていたのでもらいそうになりました。

9. 会費納入のお願い

現役の支援および会員の交流を柱とする OB 会の運営は OB 諸兄の会費で成り立っています。最近の現役の好成績も OB の皆様の陰ながらのご支援があってのことと思われます。年会費は社会人 4,000 円、学生 3,000 円です。5 年分として 20,000 円まとめて納入頂けると幸いです。平成 13 年度の会費が納入済みの方には納入状況をお知らせする紙を同封しております。平成 13 年度の会費が未納の方には振込用紙を同封しております。郵便局、銀行どちらからでも振り込みができますが、郵便局にて振り込みの場合、手数料はかかりません（OB 会負担）。なお会費納入にもかかわらず、振込用紙同封の行き違いがありましたらご容赦願います。

振込先：　郵便局　　口座番号：00100-0-50926　　口座名：開成学園排球部 OB 会

あるいは

第一勧業銀行 下谷支店　　口座番号：1041691　　口座名：開成学園排球部 OB 会

10. 開成会からのお知らせ

来る 10 月 27 日（土）九段グランドパレスホテルにおいて開成会総会が開催されます。

今回は開成学園創立 130 周年及び開成会創立 70 周年記念の会ということで例年にも増して多くの参加者を募っています。開成会の事務局長を務めておられる進藤定夫先輩(S30 卒)より今年は排球部からも是非とも多数出席してほしいとの要望がありました。進藤先輩は事務局長を今年でおやめになり、来年からは、山本純一先輩（Ｓ３８卒）にバトンタッチすることになりました。排球部としても開成会をバック

アップしていきたいと思います。当日、是非ともご参加ください。詳細は下記のとおり。

日時　：10 月 27 日（土）　15:00～
場所　：九段グランドパレスホテル　（東京都千代田区飯田橋 1-1-1　TEL;03-3364-1111）
会費　：一般 10000 円　　学生 5000 円
問い合わせ先　：　開成会事務局　TEL;03-3822-0396

11. 訃報

山崎　一功君（昭和５８卒）	平成１２年３月
中村　博次先生	平成１３年５月２５日

排球部 OB 会一同、心からご冥福をお祈り致します。
尚、山崎君の御遺族より OB 会に寄付を頂きました。改めてお礼申し上げます。

開成学園排球部OB会 会報20号
発行　平成13年8月
発行者　開成学園排球部OB会
作成・編集
関(54卒)、鈴木(H8卒)、田沢(H9卒)
宮(H9卒)、松尾(H12卒)、沢村(H12卒)